

「手を動かしてまなぶ  $\varepsilon$ - $\delta$  論法」(第1版1刷) 正誤表  
(2022年4月6日版)

場所	誤	正
p. 31, 上から3行目	, $\lim_{n \rightarrow \infty} b_n = \beta$	削除する.
p. 38, (4.8) 式	$\leq$	$<$
p. 62, 上から6行目	$f, g$	$g, h$
p. 80, (7.32) 式	$\lim_{x \rightarrow +0} x$	$0^2$
p. 80, (7.32) 式	$\lim_{x \rightarrow +\infty} x$	$\lim_{x \rightarrow +\infty} x^2$
p. 154, 定理 13.8, 定理 13.9	$a \in \mathbf{R}$	$a \in I$
p. 158, (14.8) 式	$ \alpha $	$\alpha$
p. 159, (14.11) 式	$ \beta $	$\beta$
p. 159, (14.17) 式	$ \alpha $	$\alpha$
p. 161, 上から10行目	$z$	$x$
p. 175, 上から5行目	$xy$	$x^2 - y^2$
p. 178, 下から11行目~9行目	このとき, $\sim$ (手のマーク).	削除する.
p. 178, 下から9行目	よって	このとき
p. 178, 下から8行目	したがって	よって
p. 240, (21.28) 式	$\int_x^{c+h}$	$\int_c^{c+h}$
p. 240, 下から10行目	このとき	よって, $h < \delta$ ならば
p. 240, 下から8行目	よって	したがって
p. 263, (23.15) 式	$\int_a^b$	$\int_a^c$
p. 284, 解 4.2 (1)	$\forall x \in X, \exists b \in \mathbf{R} \text{ s.t. } x \leq b$	$\exists b \in \mathbf{R} \text{ s.t. } \forall x \in X, x \leq b$
p. 284, 解 4.2 (2)	$\forall x \in X, \exists a \in \mathbf{R} \text{ s.t. } a \leq x$	$\exists a \in \mathbf{R} \text{ s.t. } \forall x \in X, a \leq x$

その他

- p.104, (9.24) 式: 全体を次のように改める.

$$\left| \frac{a_{n+1}}{a_n} \right| = \left| \frac{\frac{1}{n+2}}{\frac{1}{n+1}} \right| = \frac{(n+1)(n+2)}{n} \cdot \frac{1}{n+2} = \frac{1 + \frac{1}{n}}{1 + \frac{2}{n}} \rightarrow 1 \quad (n \rightarrow \infty)$$

- p.178, 下から11行目: 「任意の  $\sim f'(x) \neq 0$  である」の部分をも次のように改める.

「任意の  $x \in I$  に対して,  $f'(x) > 0$  である」かまたは「任意の  $x \in I$  に対して,  $f'(x) < 0$  である」

- p.179, 上から8行目: 「任意の  $\sim f'(x) \neq 0$  である」の部分をも次のように改める.

任意の  $x \in I$  に対して,  $f'(x) > 0$  である」かまたは「任意の  $x \in I$  に対して,  $f'(x) < 0$  である